

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・古典精読	学年	第3学年	教科書	尚文出版「完成古典(古文・漢文)」 尚文出版「古典読解トレーニングノート」 数研出版「改訂版 体系古典文法」 桐原書店「読んで見て覚える 重要古文単語315改訂版」
		単位数	3単位	副教材	

**学習目標**  
 古典学習の最終段階として、入試問題演習形式で古文・漢文の問題を解く。センター試験への対応と、その他一般的な記述式問題の解法演習を行い、古文・漢文の知識を確実なものにすることをめざす。

**学習方法**  
 ○指定教材の問題を解き、「古典読解トレーニングノート」を活用して自学を進め、授業では、答えあわせとして解説を中心に進めていきます。  
 ○家庭学習として問題を解いてもらうこともあります。  
 ○授業においては指定された教材を用いますが、適宜補助プリント等も用います。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	①	関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。		
	②	話す・聞く能力			
	③	書く能力			
	④	読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。		
	⑤	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。		

評価の観点	①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く力	④読む能力	⑤知識・理解
授業観察	◎				
課題提出	○				
演習問題	○			○	○
定期試験				○	◎
観点別比重	20%			30%	50%

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	尚文出版「完成古典」ステップ1	40	1～9	・古文では、助動詞などの文法の知識を整理し、正確に意味を把握できるようにする。 ・漢文の重要句形の理解を深め、正しく訓読、口語訳できるようにする。 ・各作品の文学史的な位置や特徴を理解し、時代背景なども考えながら、登場人物の心理を考察する。	①自主的にテキストの問題に取り組んでいる。 ①④自分の知識の不足している部分について自分で調べて理解しようと努力している。 ⑤各作品の特徴や作者についてしっかりした理解ができている。	・観察 ・ワークブック ・トレーニングノート ・定期試験
2学期	尚文出版「完成古典」ステップ2	40	10～18	・古文では、助動詞などの文法の知識を整理し、正確に意味を把握できるようにする。 ・漢文の重要句形の理解を深め、正しく訓読、口語訳できるようにする。 ・各作品の文学史的な位置や特徴を理解し、時代背景なども考えながら、登場人物の心理を考察する。	①自主的にテキストの問題に取り組んでいる。 ①④自分の知識の不足している部分について自分で調べて理解しようと努力している。 ⑤各作品の特徴や作者についてしっかりした理解ができている。	・観察 ・ワークブック ・トレーニングノート ・定期試験
3学期	尚文出版「完成古典」ステップ3	25	19～27	・古文では、助動詞などの文法の知識を整理し、正確に意味を把握できるようにする。 ・漢文の重要句形の理解を深め、正しく訓読、口語訳できるようにする。 ・各作品の文学史的な位置や特徴を理解し、時代背景なども考えながら、登場人物の心理を考察する。	①自主的にテキストの問題に取り組んでいる。 ①④自分の知識の不足している部分について自分で調べて理解しようと努力している。 ⑤各作品の特徴や作者についてしっかりした理解ができている。	・観察 ・ワークブック ・トレーニングノート ・定期試験
合計時数(50分授業)		105				